

くしろ再発見!

知ってる? くしろの不思議



釧路にはまだまだ知られていない不思議なことがたくさんあります。よく考えるとなんでだろう? あれは何? こんなことがあったんだー! というような、釧路のあまり知られていない歴史や不思議、魅力を探しました。

駒場町で競馬が開催されていた!

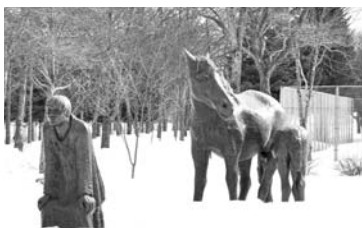
馬産王国と競馬場

釧路には馬に関する銅像や石碑が多く存在します。これは、釧路が「馬産王国」として栄えていたことを示すもので、特に大乗毛家畜市場は、大正時代以降「日本三大馬市」の一つとして成長していきました。

これを証明することとして、釧路にも競馬場が存在したという事実があったのです。

釧路競馬場は、現在の駒場町付近(旧鳥取村)からイトーヨーカドー付近にあり、昭和7年から5年間、「釧路地方競馬」が行われました。春は3日間、秋は4日間の年2回開催されました。馬は道東各地から集まり、当時の出馬登録一覧表を見ると、「チヨクベツ」、「クシロネズミ」などの道東各地の地名が入った馬名も多く見られます。

競馬場は現在の駒場町付近に一周約1,960mの馬場がありました。現在のイトーヨーカドー付近には



(上)はんのき公園(美原4)の「馬と牧夫」
(下)大乗毛駅前「日本釧路種」



当時の競馬の様子

「釧路競馬場入口」と書かれた看板や、厩舎、検量所、事務所、投票所、発券所、引換所、観覧席などの施設がありました。また、地方から来る騎手などの競馬関係者用の宿舎も設置されていました。

現在の旧駒場小学校付近には、新釧路川治水工事の際に採掘された土を盛って作った棧敷がありました。一般の観覧席は実際に馬券を購入する人たちが利用していましたが、こちらの観覧席からは無料で誰でも観覧することができたのです。

太平洋戦争後、競馬場があった場所は住宅街に様変わりしました。「駒場町」という町名が、馬産王国として釧路が栄え、この地区に競馬場があったという証しとして残っていくことでしょう。

当時は振り返る

小学生のころには、馬に運動をさせるため、競馬場のコースで馬を走らせてもらったことがあります。ほかの馬と接触したこともあり、緊張しながら走らせたことを思い出します。

競馬場の付近はたくさんの出店でにぎわっていました。そこで売っている大福もちを食べたくて、親から小遣いをもらってよく行きました。その時食べた大福もちのおいしさは、今でも忘れられません。



おざわのりあき
小澤徳明さん (86歳)

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	馬場
フクケイ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	クシロエ	馬場
...

昭和10年の出馬表(「釧路競馬番組」より)